

恋人の聖地にシンボル

モニュメント来春完成

【野木】野木の国指定重要文化財「野木町煉瓦窯」と渡良瀬遊水地の谷中湖が「恋人の聖地」に認定されたことを受け、町教委は煉瓦窯敷地内にモニュメントを設置する。デザインは小山北桜高の生徒に委託し、生活文化科2年嶋田風紗さん(16)の案が選ばれた。モニュメントは3月末の完成予定で、町教委は「モニュメントの設置を若者の集客のきっかけにした」としている。

(大貫菜伊子)

デザインは嶋田さん(小山北桜高)

煉瓦窯と谷中湖は5月、「野木町煉瓦窯&ハート池」の名称でNPO法人地域活性化支援センターが認定する「恋人の聖地」に選ばれた。町と同校は3月、包括連携協定を締結しており、

その一環でデザインを委託した。7人の生徒が応募し、嶋田さんの作品が最優秀デザイン賞となった。嶋田さんは「煉瓦窯は歴史があるので現代らしいデザインでなくシンプルにした」と話す。



嶋田風紗さん

嶋田さんの案を基にしたモニュメントは高さ約2.30m、幅約2.5mとなる予定で、ハート部分はステンレス製、土台にはれんがを用

いる。ハートから煉瓦窯を見えるように設置し、フォトフレームとしての活用も目指す。

21日は町職員が同校を訪れ、デザイン案を提出した生徒に賞状などを贈呈した。嶋田さんは「自分がデザインしたものが形になることはないので、すごくうれしい」と喜んだ。

町は本年度町一般会計補



嶋田さんが考案したモニュメントのデザイン案

正予算に制作費として約300万円を計上。来年1月には工事を発注する。モニュメント周辺には花壇の整備なども予定しており、町教委は「生徒の思い出にもなるので今後も共同で取り組みたい」としている。